

平成19年12月13日

国土交通大臣 冬柴 鐵三 殿 他

川崎商工会議所
会 頭 西 岡 浩 史

川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会 長 西 岡 浩 史

川崎縦貫道路等の早期整備について（要望）

平素は、「川崎商工会議所」「川崎市の幹線道路の整備を促進する会」の活動につきまして、格別のご理解を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、川崎市は南北に細長く、市域を縦貫方向に結ぶ幹線道路の整備が喫緊の課題であります。平成16、17、18年度に、当所が実施した利用意向調査では、東名高速まで供用されれば80%以上の企業が利用すると回答しており、臨海部と東名までの南北移動時間の短縮などの交通改善を、65%以上の企業が必要と回答しております。

国土交通省におかれましては、先般、道路政策中期計画策定に向け、素案を発表されたところであり、整備目標・重点方針の冒頭に、基幹ネットワークの整備を掲げており、その重要性を位置付けられております。もとより、首都圏の幹線道路ネットワークは、産業、生活、環境など多方面に大きな効果を及ぼすところから、その整備が強く望まれております。

つきましては、首都圏の広域交通ネットワークの一翼を担い、川崎市の発展に不可欠な次の3点について、格別のご高配を賜わりたくお願い申し上げます。

1. 道路政策中期計画の中で、現行の道路財源の確保と効果的な活用による、川崎縦貫道路の早期整備の実現。
2. その具体的な実現のため、東京外かく環状道路の東名以南ルートと川崎縦貫道路との一本化整備の検討。
3. 川崎都心部の慢性的な渋滞を改善するために、一般国道409号(国道15号～国道1号)の先行整備。

以 上